

科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合 議事概要

- 日 時 平成 22 年 4 月 8 日（木）9:30～10:35
- 場 所 合同庁舎 4 号館 1214 会議室
- 出席者 津村政務官、相澤議員、本庶議員、奥村議員、白石議員、今榮議員、青木議員、中鉢議員、金澤議員、藤田統括官、梶田審議官、岩瀬審議官、大石審議官
- 議事概要

議題 1．新成長戦略に対する意見について

（意見取りまとめの事務的な打ち合わせのため非公開）

議題 2．日本の展望 - 学術からの提言2010

< 金澤議員説明 >

（特に意見なし）

議題 3．ヒトES細胞の使用に関する指針の改正に関する答申

< 三宅参事官説明 >

（相澤議員） 答申案については、本会議において審議、決定していただくこととする。

議題 4．最先端研究開発支援プログラムについて

< 二村参事官、文部科学省説明 >

（本庶議員） 「頭脳循環を促す世界水準の研究設備の整備」について、支援対象になったとしても、拠点外の人や、場合によっては他学の人でも設備を使えるような公開や共用の仕組みが整備されていることを選定の観点に加えていただきたい。

また、「頭脳循環を活性化する海外への若手研究者派遣」については、公募するのか否かと、その選定基準を明らかにすべきである。

（奥村議員） 「頭脳循環を促す世界水準の研究設備の整備」における支援期間終了後の評価について、評価の観点をより明確にすべき。また、「オンリーワン、世界随一」という表現も、より明確に定義すべきではないか。

（白石議員） 「頭脳循環を活性化する海外への若手研究者派遣」について、中心的な研究者が集まることによって派遣機関が世界的な研究のハブになるということがわかるように書き方を工夫すべきである。研究機関のポテンシャルは研究者の流動等により絶えず変動することに留意しておく必要があるのではないか。

（相澤議員） いろいろ指摘があったので、それに対応するような形での修正をお願いする。

議題５．平成23年度の科学・技術に関する予算等の資源配分の方針の基本指針について

< 須藤参事官説明 >

- (本席議員) 一番下の「イノベーション創出を促す取組」の部分に、規制改革に向けた研究のようなものを入れた方がいいのではないかな。
- (奥村議員) 7行目の「類似制度の整理統合」、12行目の「類似予算の整理統合」という表現について、より正確に記述すべき。1の資源配分の最重点化に記述されている「アクション・プラン」について、より正確に、毎年見直しを行うという表現を入れるべき。また、2の資源配分の重点化の4つめの○に記述されている「知的財産」については、適切な活用だけではなく、権利化についても入れた方が良くはないかな。
- (金澤議員) 先述の「類似予算の整理統合」は、単に、似たようなものを寄せ集めて1つにし、予算を減らすということではなく、類似の提案を一緒にして、協議をし、よりよいものにするというニュアンスを出してほしい。
- (相澤議員) ただ今の意見に基づいて修正し、議員に開示した上で、各府省に諮ることとしたい。

(以 上)